

新春労使共同セミナー

元プロ野球選手 西本さん
▼指導者としてあるべき姿▼

現役エピソードを交え当時を語る

新春恒例の新年労使共同セミナーを開催し、経営者・組合関係者ら400名が参加しました。



開催にあたり富澤会長から「あけましておめでとうございます。働き方改革が加速している中で、働き方を見直すのは労使でしっかりと話し合っていくことが重要である。その上で日頃の点検活動や労使協議を重ねてより良い職場づくりに向け連携をしていきたい。」と新年の挨拶がなされました。

第1部の講演会では、元プロ野球選手の西本聖さんを招き『指導者としてあるべき姿』と題し、巨人軍で活躍されていた頃の江川選手とのエピソードや、20年間の現役の中で培われた監督やコーチとの関わり方など、当時の隠されていた本音を交えて話され「指導者との出会いはたくさんあるが、自分も無我夢中だった分、良い思い出は少ない。だからこそ反面教師ではないが、

指導者になった時に活かされる部分が多かった。自分では選手の環境づくりを手助けし、システムづくりを心掛けていた。本人の能力を把握するとやるべきことが見える。まずは選手に好かれようとしないう、どうにかして成長してもらいたいと思う気持ちが大切。」など力強い講演をいただきました。

第2部では、群馬県副知事や群馬労働局長を招いて、組織の枠を越えて和やかに交流を行いました。



西部地協は1月17日、メトロポリタン高崎で新年のつどいを開催し、構成組織や企業など66名が参加した。統合前の富岡地協として、03年から毎年時期のテーマでパネルディスカッションや新春セミナーを開催。15年に3地協が統合、西部地協としては初めてとなるセミナーは、東海大学政治経済学部 川野特任教授を講師に「2017年の日本経済・景気動向」と題して講演を行った。



☆新春セミナーを地協で開催するのは西部地協のみ



高崎地区労福協（連合・勤労者スポーツ協会・事業団体等）は、1月20日に開催された『連合高崎地協新春のつどい』において、これまでの活動を通じて寄せられた愛のカンパから10万円を高崎市社会福祉協議会に寄贈した。

この取り組みは、98年、各団体が個別に実施していたものを統一し、より地域社会に貢献するため毎年実施。当日は、勤労者スポーツ協会の入澤会長代行から松橋社会福祉協議会会長にチャリティ金が贈呈され、「市民のために有効に活用させていただく」との謝辞が述べられた。また、高崎市等が行う福祉事業へのボランティア貢献が認められ、今月25日“市民福祉大会”の中で表彰される予定。



☆愛のカンパの浄財を新年のつどいで社福協へ寄贈

2017年「県民意識調査」展開中

連合群馬では、群馬県をはじめ県内35の全市町村に提出する「政策・制度要求と提言」の裏付けとする「県民意識調査」を実施し、県民・地域住民のニーズを把握しています。

県民意識調査にご協力をお願いします。

組合員以外の方については、連合群馬のホームページのトップページにある

バナーから意識調査の回答ができますよ～～～

チェックしてネ!!

